

平成 25 年 4 月 23 日

平成 24 年度 地域貢献活動支援報告書

社会連携研究センター長 殿

所 属 人文学部  
氏 名 樹神 成

活動テーマ	
実施期間	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 25 年 3 月 31 日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容</p> <p>忍者・忍術学講座、古文書講座などの公開講座や、忍者に関するデータベース作成の事業など、忍者に着目した地域の活性化の取り組みと連携しながら、2013 年 3 月 12 日、公開トークイベントを開催した。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与、広がり）</p> <p>作家：和田竜、伊賀流忍者博物館名誉館長：川上仁一、人文学部教授：山田雄司との鼎談は、全国的な話題となり、「忍者」を再発見する貴重な試みとなった。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況</p> <p>共同実施者である上野商工会議所とは、年間を通じて、伊賀連携フィールドの活動で連携している。</p> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり</p> <p>イベントには、三重大大学の大学院生や学生、留学生も多数参加した。公開トークイベントの内容は、2014 年 3 月刊行予定の『忍びの文学』に収録される予定である。</p> <p>(5) イベント等開催実績（名称，実施場所，参加人数等）</p> <p>公開トークイベント「史実の魅力、小説の魅力—忍者小説の新たな地平」 (日時：2013 年 3 月 2 日（土） 13:00～15:00、場所：ハイトピア伊賀</p>

	3階 上野商工会議所コミュニティ情報プラザホール) を開催した。参加人数は約180名。
継続希望の有無	有

○本報告書は、活動実施期間終了後1ヶ月以内に社会連携チームに提出してください。

※Web掲載が可能な活動内容の記録写真等があれば、適宜、本報告書に貼付して提出願います。

※継続4年目以降の活動支援報告書については、「(3) 共同研究者との連携状況」「(4) 大学の教育・研究成果のかかわり」は省略可とします。